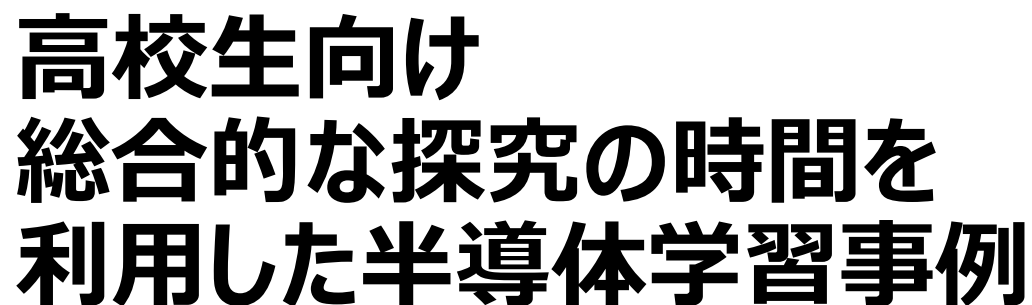




株式会社マイナビ

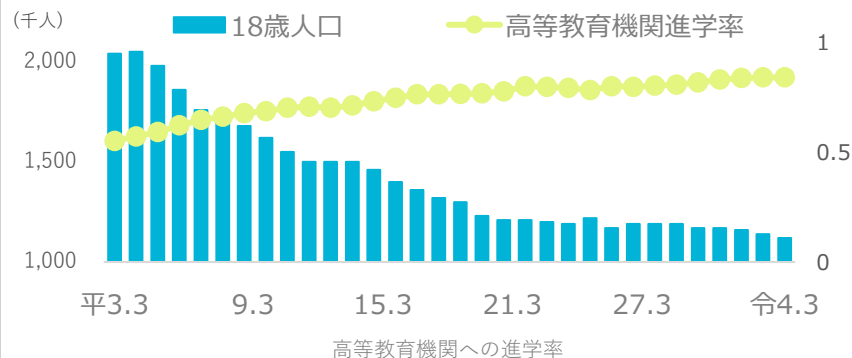
福岡支社

副支社長 土山 勇

<https://miraiyell.mynavi.jp/download/>

若者人口の減少による、地域企業における人材不足

18歳人口の減少と進学率の上昇



Locusの目指すもの

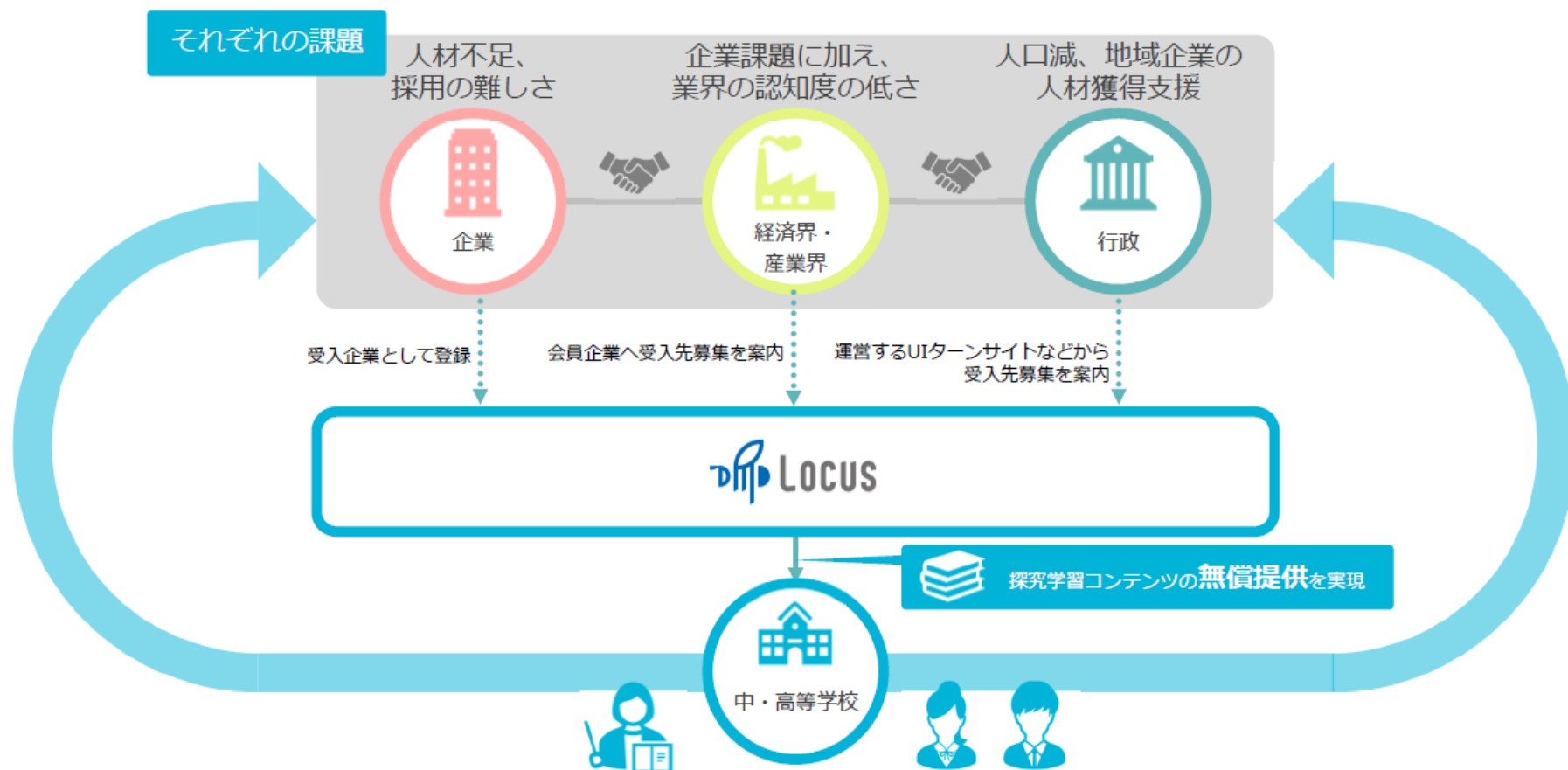
高校卒業者全体の約8割※を占める進学者層は、現状、就職活動時まで地元企業を知る機会があまりありません。
高校時代に地域企業の認知度を上げることで地元企業への就職・転職を促進し、将来的な雇用の増大、産業・経済の発展に寄与いたします。

進学者に対し、地元企業の認知度を上げて、将来の地域就職を促進
Locusを通して高校生・高校教員に早期ブランディングを

「Locus(ローカス)」のプログラム



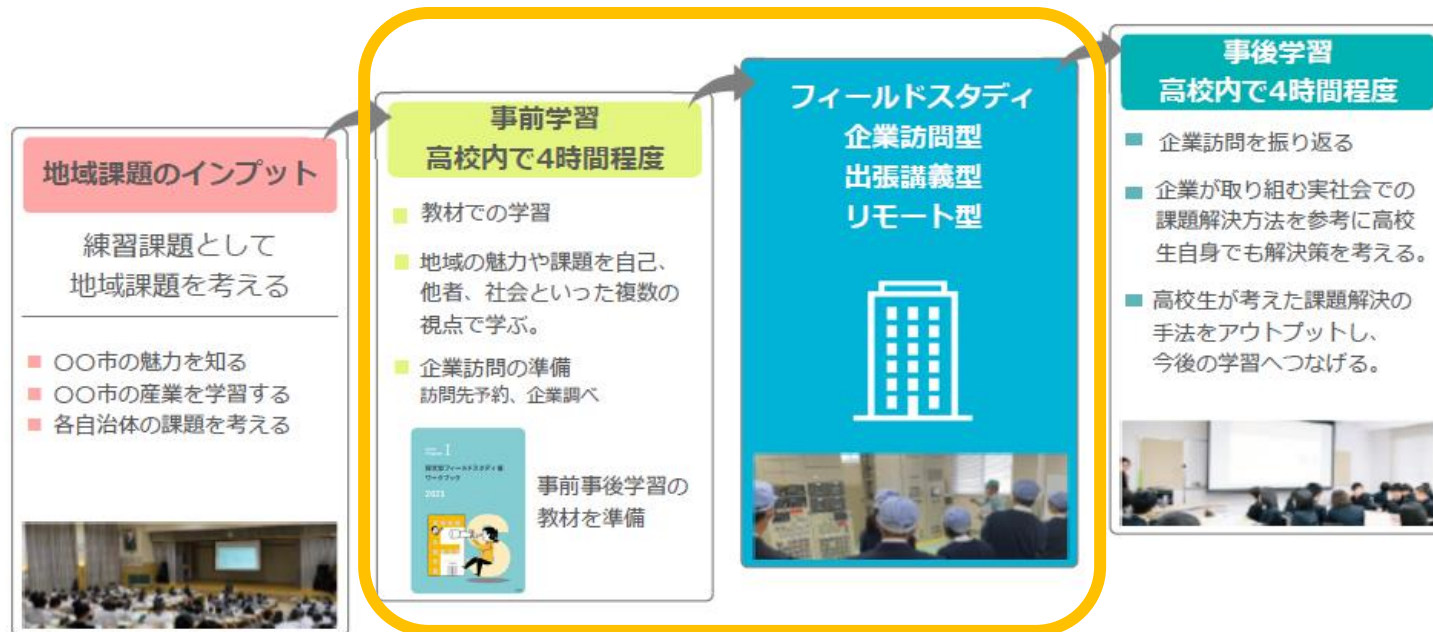
Locusをハブとした人材育成モデル（地域間エコシステムの形成）



Locusプログラムの流れ

Locusプログラムでは、企業に訪問する前に、高校内で事前学習を行います。

事前学習では企業のプロフィールを事前に調べたり、企業訪問時の質問内容を考え、フィールドスタディ当日の準備をします。



今回のプログラムは、この部分を提供するものになります。

②フィールドスタディ：企業訪問型



企業訪問型

生徒が企業へ訪問するフィールドスタディ

【受入形式】企業訪問型（リモート型・出張講義型も選択可能）

【実施時間】原則3時間 ※実施校により異なります

【受講人数】基本3～15名程度の少人数受講の場合が多い



Copyright© Mynavi Corporation

②フィールドスタディ：出張講義型



出張講義型

企業ご担当者様が学校へ訪問し講義を行うフィールドスタディ

【受入形式】出張講義形式（他受入形式の選択不可）

【実施時間】原則2時間 ※実施校により異なります

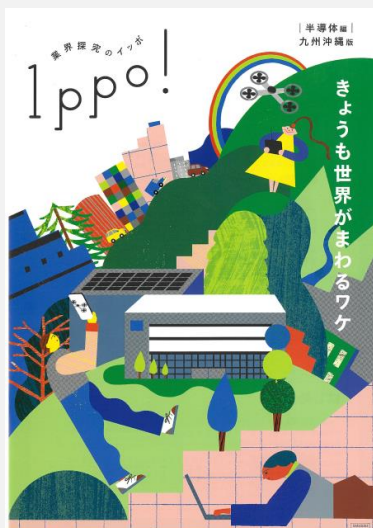
【受講人数】基本20名以上の大人数受講となる場合が多い



※地域によって実施可能なフィールドスタディ形式は異なります。

今回の業界探究学習教材『業界探究の1PPO』

必修授業「総合的な探究の時間」で半導体業界について学習する教材



高校の必修授業「総合的な探究の時間」で使用される教材です。
就職を見据えた大学生の段階で初めて企業や業界について知ることが多い中、
高校生から業界や地域の企業について学習できる探究教材です。業界の知識
を身に付け、ワークシートを活用しながら掲載企業のことを学び、視野を広げます。

台割 全32ページ

業界への関心を高め、基礎知識を学ぶ

表紙

業界の基礎知識紹介

JEITA監修

九州の
業界動向
紹介

九州半導体人材育成等
コンソーシアム監修

事例から学ぶ

企業・学校紹介記事

①業界の未来

②企業
基本企画

③学校
研究紹介

ワークシート

探究学習
ワークシート

媒体名 : 業界探究の1PPO！ 半導体編 九州沖縄版
発行流通 : 2024年7月発行予定（2024年7月～2025年3月の期間に流通）
判型 : A4変型（210×285mm）
配布対象 : 九州地域の高校生および福岡県内の中学生（予定）
※主な利用者は普通科高校1-2年生
L上記のうち実証実験協力校（5～10校）で
ご参画企業による授業内での講義を実施予定
配布方法 : 授業時間内に教員より教材として提供
本教材を使用した授業を3コマ程度実施想定
発行部数 : 10,000部
※高等学校に対しては教員用指導ガイドをご提供予定



具体的な業界探究学習教材の授業内での活用（予定）

業界探究学習教材を使った学習方法イメージ

高校内での座学 高校内で3時間程度



必修授業で扱う教科書として「業界探究の1ppo!」を活用。
ワークシートを活用しながら、企業掲載ページを読んだりグループワークを行ったりする。



希望高校によるオプション実施

企業担当者による 高校生への講演会実施



企業紹介、取り組んでいる社会課題に関する講義をいただき、質疑応答の時間を使ってディスカッションを実施。

※対面またはオンラインにて実施予定

locusプログラムを学習する高校生達の様子



マイナビ高校営業メンバーが、学校授業での導入をサポートいたします

2023年度のlocusの取り組み

※現在福岡県内の高校で1校実施

その他 約1%

現在、デジタル版で対応中。

デジタル版は、関東の高校から希望も有内容的に中学生から大学生1,2年生あたりまで利用できるものと認識しています。来年度版の作成も予定しています。



半導体に関する学びといっても、半導体材料、半導体製造技術、半導体デバイスに応用したAIなどに関する学びなど、様々あります。さまざまな学びの中から、2つの研究事例を見てみましょう。

半導体・デジタル研究教育機構 百瀬 健 教授

知識をもとに自分のアイデアを形に

半導体デバイス内の電子回路の縮小(テクノロジーノード)はこの50年で数 μm から数 nm へと1,000分の1まで小さくなりました。微細化によって、動作が速くなり、多くの半導体を増設できるため機能を増やすこともできます。また製造費用も削減できます。半導体デバイスとして「小さいこと」は重要なことです。

私の研究室ではさらなる納化化を目的とする「環境技術」を研究しています。半導体に求められる微細加工は、材料を原子・分子レベルにまでバラバラにし、シリコンウェハの上に組み立てることによります。そのため、導電性「層」をつくる。このようなつくり方を研究するプロセスエンジニアが半導体の納化化を支えています。今後とも覚えていきます。いま日本にはプロセスエンジニアが不足しています。専門的な知識をもとに、自分の力を発揮をつくり、新たなプロセスを開発する。素人頭を動かしたい人はいれば、入ってもらいたいと強く思います。



大学院システム情報科学研究科 情報知能工学部門 井上弘十 教授

半導体を視野に入れつつ、「半導体の次」を研究中!

私の研究では、その機能を持った半導体デバイスを使って、どんなコンピュータでもあらゆる計算を行っている。最近ではガンセン・コンピュータ¹を開発したのや、有機物や、セロリングを使ったコンピュータなどさまざまなコンピュータがある。私の主な研究は、半導体の欠陥特性、半導体デバイスとはなんとも関係ない超導特性を集中して研究してきた。これ以外には、くさくさな半導体コンピュータが得意で、しかも人間の脳に近いものがない限り、コンピュータの性能を上回れるわけではない。次を言うのは、はたして光コンピュータか量子コンピュータ、いまこそ重要という名のイメージ・プログラミング²が必ず必要になっています。私の研究は、高度な目標という人から嫌まうものであり、私自身もううらやまの研究者であっています。

半導体に関する研究や半導体を活用した学びの機会を提供している学校一覧

● 学校法人南山学園	● 学校法人正教大学 産科看護学部(福岡キャンパス)	● 国立太田大学
● 国立大学法人大分大学	● 新日本造形芸術短期大学校	● 学校法人清日本工科大学
● 国立大学法人鹿児島大学	● 国立大学法人札幌大学	● 学校法人福岡大学 看護学実習研究所
● 国立大学法人九州工業大学	● 国立大学法人創成大学	● 学校法人福岡工業大学
● 九州産業短期大学校	● 新潟大学	● 国立大学法人高崎大学
● 国立大学法人九州大学	● 新潟大学 九州キャンパス	● 学校法人聖徳大学 情報科学システム研究センター